

Well-beingワークショップ 実施結果について

2025年3月18日

ワークショップ実施概要

目的

- Well-being指標を市民・職員・関係者と共有するワークショップを実施し、意見を幅広く収集するとともに地域のWell-beingを市民目線で評価する
- 市民・関係者と地域の現状や課題を共有し、今後のありたい姿を考えることで、まちづくりへの積極的な参画へのきっかけとする
- 市民の意見やアイデアを収集し、総合計画の見直しに反映する

分野	テーマ・目的	開催日時・場所	参加者
健康	【テーマ】「健康」に暮らせるまちとは 市民の意識や課題、新たなアイデアを収集し、今後の政策に反映する	1月18日（土） 9:30～12:00 備前市役所	23名： ・市民8名（30歳代～60歳代、会社員、主婦他） ・職員7名 ・事業者3名 ・進行役5名
防災	【テーマ】わがまちの「防災」を考える 市民の意識や課題、新たなアイデアを収集し、今後の政策に反映する	1月18日（土） 14:00～16:30 備前市役所	25名：4グループでワークショップ ・市民11名（30歳代～60歳代、会社員、農業者他） ・職員6名 ・事業者3名 ・進行役5名
若者女性	【テーマ】「若者・女性」が活躍できるまちとは 「若者・女性」の目線で備前市の課題や要望・今後の期待を収集し、今後の政策に反映する	1月25日（土） 14:00～16:30 備前市役所	22名：4グループでワークショップ ・市民11名（10歳代～60歳代、会社員、高校生7名他） ・職員4名 ・事業者4名 ・進行役3名

ワークショップ プログラム

ワークショップ プログラム (全体 : 150分)

1. オープニング : ワークショップの目的とプログラム説明 (5分)
2. 備前市の取組みについて紹介 (5分) : 備前市
3. アイスブレイク : 自己紹介 (5分)
4. **Part 1 : 現在の備前市の姿を見つめなおす (40分)**
 - ① Well-being調査結果の説明 (客観指標・主観指標アンケート)
 - ② 現状の整理 (良い点・課題・具体的な事例)
 - ③ 発表
5. 休憩 (10分)
6. **Part 2 : 10年後の備前市のありたい姿を考える (80分)**
 - ① 10年後の備前市を表現する (○○○○○なまち)
 - ② 具体的なライフシーンを想定する
 - ③ 実現に向けた具体的なアイデアを考える
 - ④ 発表
7. エンディング : 全体まとめ (5分)

The Future of Our Town ワークショップ
10年後の備前市を考える ～住み続けたい魅力あるまち備前市～



BIZEN BIZEN CITY

住み続けたい魅力あるまち「備前市」であり続けるために、10年後の備前市を考えるワークショップを開催します。今回は、以下の3つのテーマを市民の皆さまと考えていきます。ご参加をお待ちしております。

【開催テーマ/日時】

①「健康」に暮らせるまちは	2025年1月18日 (土) 9:30～12:00
②「わがまちの防災」を考える	2025年1月18日 (土) 14:00～16:30
③「若者・女性」が活躍できるまちは	2025年1月25日 (土) 14:00～16:30

※ ①② : どなたでもご参加ください ③ : 学生の皆さん大歓迎です

Part 1 : 現在の備前市の姿を見つめなおす
- Well-beingアンケート 経産標準
- 現在の備前市 (良い点・課題)

Part 2 : 10年後の備前市のありたい姿を考える
- 10年後の備前市をイメージ
- 実現に向けたアイデアを考える

【場所】 備前市役所本庁 3階大会議室

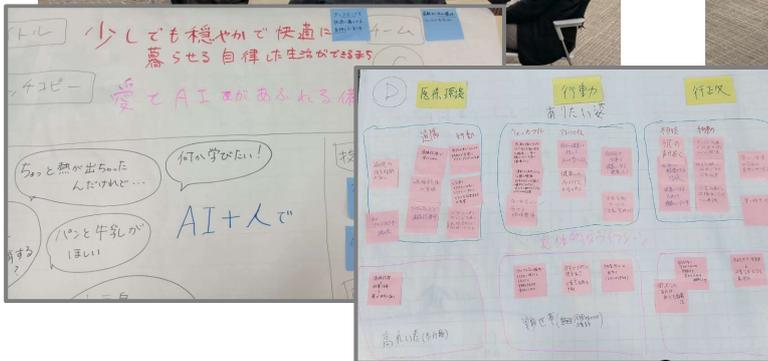
【参加者募集】 参加をご希望される方は、QRコードから事前に参加申込をお願いします。各回の応募締切日は次のとおりで、それぞれ25名の定員に達した場合は、募集を締め切らせていただきます。

<応募締切日> ①② : 1月10日 (金) ③ : 1月17日 (金)

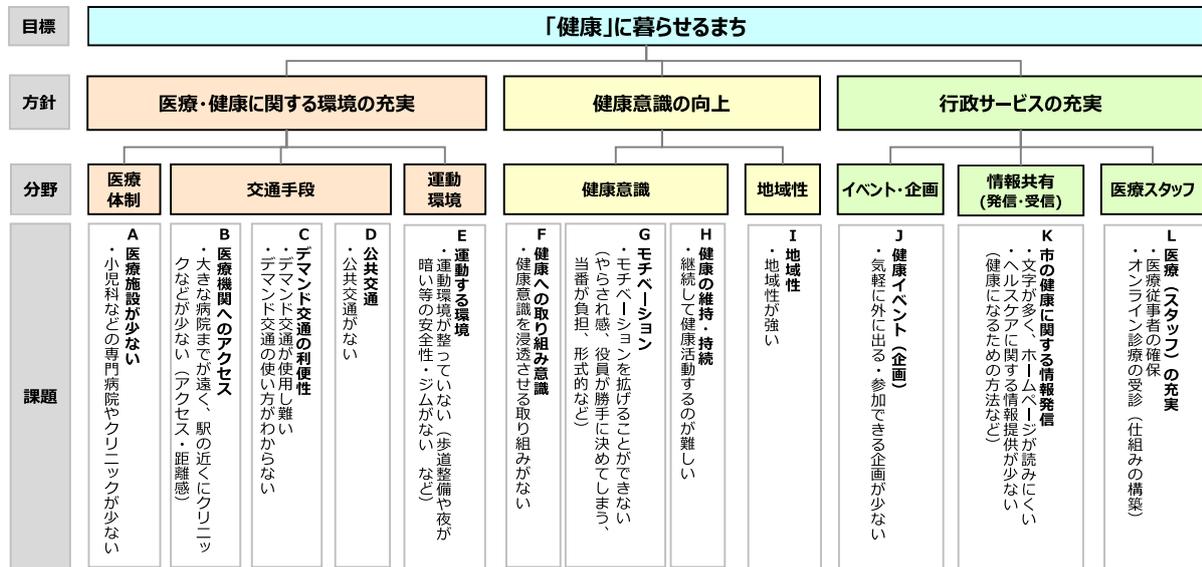


備前市
Bizen City Okazaki

ワークショップ 1 : 健康・医療分野_ワークショップの様子

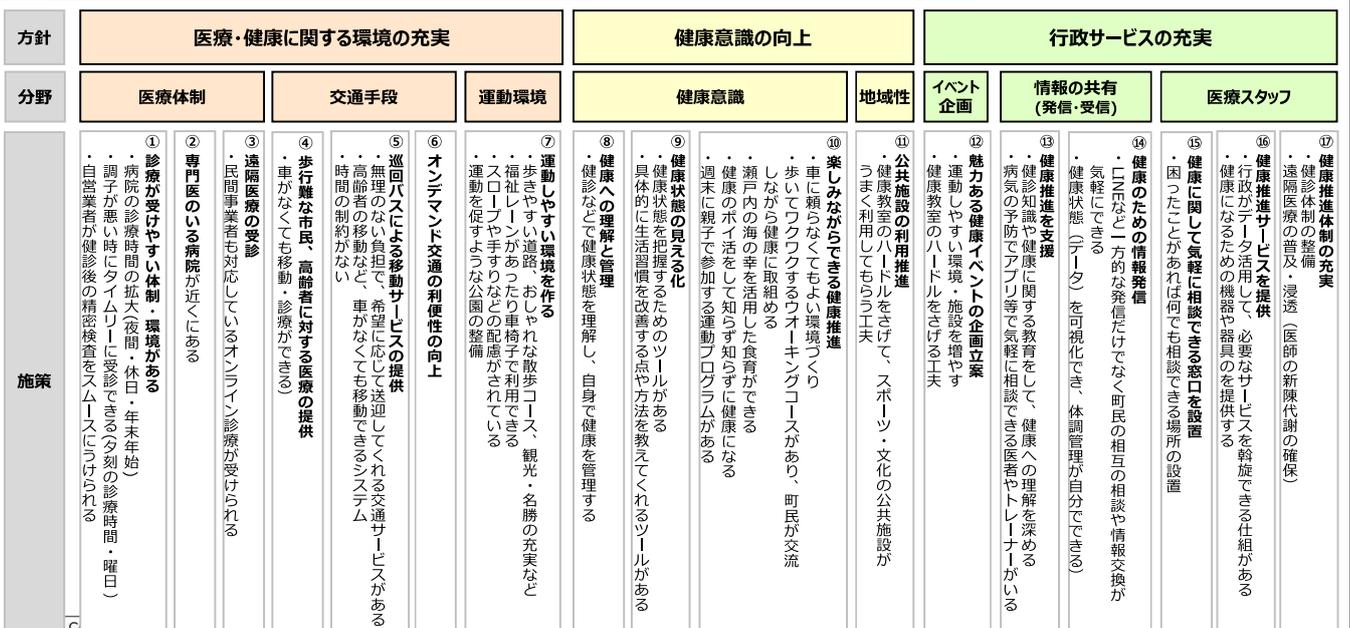


ワークショップ 1 : 健康・医療分野_目標課題体系図



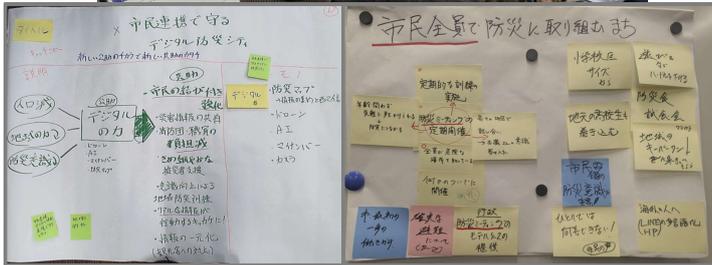
4

ワークショップ 1 : 健康・医療分野_目標施策体系図



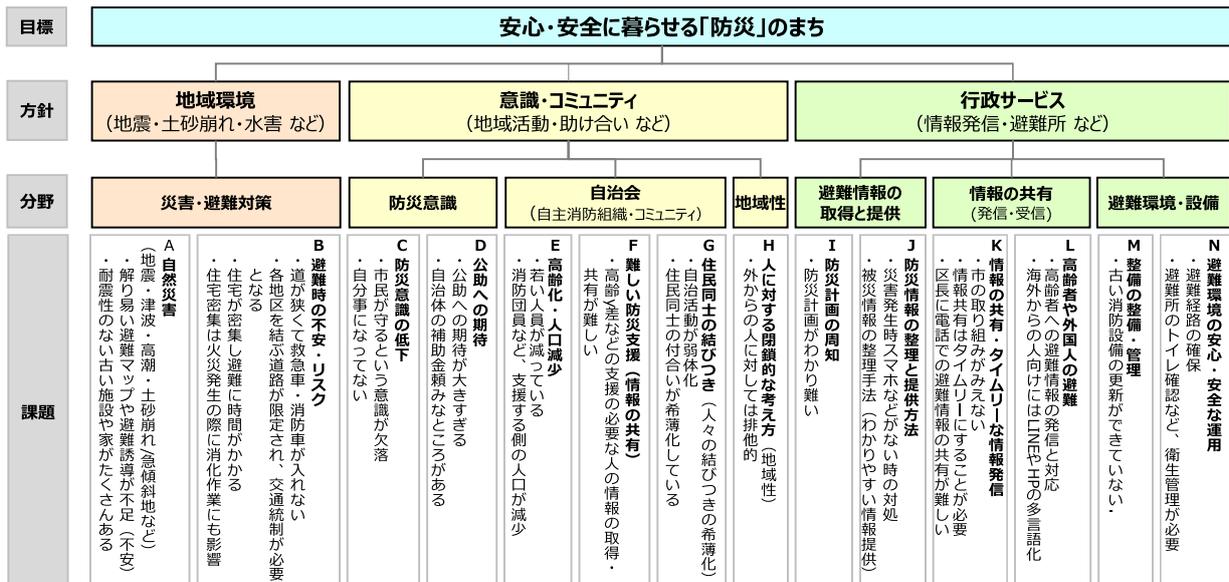
5

ワークショップ 2 : 防災分野_ワークショップの様子



6

ワークショップ 2 : 防災分野_目標課題体系図



7

ワークショップ 2 : 防災分野_目標施策体系図 (1)

方針	地域環境 (地震・土砂崩れ・水害 など)		意識・コミュニティ (地域活動・助け合い など)							
分野	災害・避難対策		防災意識	自治会 (自主消防組織・コミュニティ)		地域性				
施策	<p>① 自然を生かした防災公園の設置</p> <p>② 未整備の災害対策の実施(ハードソフト強化) ・ 河川・沿岸のインフラ整備による水害対策の強化 ・ 災害対策のための河川改修・適正な維持管理 ・ 高潮対策・急傾斜地などの対策工事の実施 ・ 生活に必要なインフラ(ライフライン)を強固にする</p>		<p>③ 地域コミュニティの強化による防災意識の向上 ・ 地区防災計画を作成する機会を作り、議論して防災意識を高める ・ (皆で逃げる・生きる) ・ 地域コミュニティの向上し、どこにだれが住んでいるのかを把握する ・ (近所の住民の連帯力の強さを活用する) ・ 避難行動を全戸がわかっている ・ (町内会の総会で少しづつ情報をアップデートする) ・ 市民を巻き込んだ防災訓練を実施、危機意識を醸成する</p>	<p>④ デジタル技術(DX)の活用による防災意識向上 ・ パーチャル避難訓練の活用(ゆっぴりみようとと思う雰囲気作り) ・ 狭小道路のある地域での個別避難シミュレーション ・ リアルに感じられる防災訓練(VRの活用など)</p>	<p>⑤ 自治会(防災組織など)の連携強化 ・ 消防団、防災士、自主防災組織と、全組織横断した防災対応ができる連携強化した体制作り ・ 多くの住民が住む地区をまとめるための「ハブ」を作る</p>		<p>⑥ コミュニティの活性化 ・ 年齢を問わず気軽に声をかけられるような関係性を作る ・ 地区の全員が危険な場所を知っている ・ 会合などでお隣さん意識・受け入れを育む ・ SOSを受発信できる人間関係作り ・ 日頃からコミュニケーションを取っておく</p>	<p>⑦ 防災・避難に関する教育・訓練 ・ 定期的な訓練や防災ミーティングの開催 ・ 遊びや防災食試食会などを取り入れ、参加のハードルをさげる工夫 ・ 町内会などの地区組織で地区防災計画を検討して、作成する ・ 各地区ごとの自主防災訓練や避難所(訓練)の開設 ・ 実際に歩いて周囲(避難所)を確認</p>	<p>⑧ ロールモデルの構築と他市町村への展開 ・ 助け合う地域のモデル(ロールモデル)を共有する ・ 防災士などのリーダーの育成と資格取得への補助金支援を行う</p>	<p>⑨ 地域防災計画(支援) ・ 各地区で地区防災計画を作成して、集約・運用支援する</p>

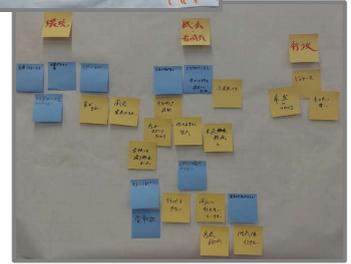
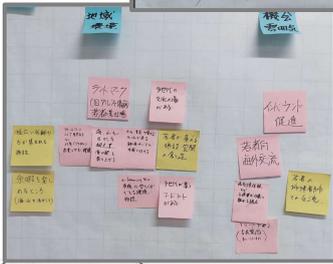
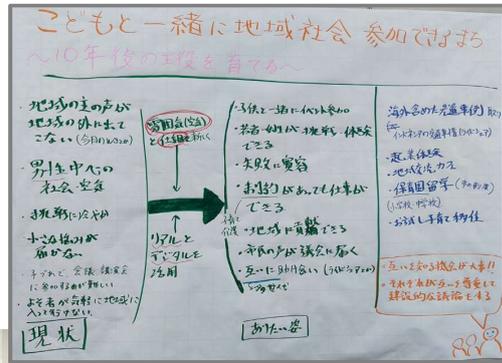
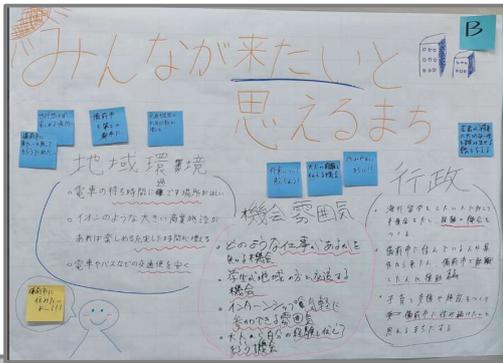
8

ワークショップ 2 : 防災分野_目標施策体系図 (2)

方針	行政サービス (情報発信・避難所 など)		
分野	避難情報の取得と提供	情報の共有 (発信・受信)	避難環境・設備
施策	<p>⑩ 自治体との連携強化 ・ 他自治体との連携強化し、共同で防災対策にあたる ・ 関係機関、行政、住民の情報と活動を一元的にまとめる、指示を出せる体制をつくる ・ 非常時における行政の権限強化と計画的なプロ(専門家)を育成する</p>	<p>⑪ 防災情報の送受信強化 ・ 災害情報が市民にプッシュで届く、市民が発信・収納できる情報システムを構築する ・ デジタル情報弱者へも適確に情報が伝達される仕組みの構築・運用を行う</p> <p>⑫ 防災情報の共有(発信・受信) ・ 避難情報や避難所の状況を共有する(情報の一元化) ・ ティサービスなどで高齢者にも災害時の対策や避難所の情報を共有できる ・ 防災アプリを利用して情報を共有する ・ 消防団アプリの情報を備前市のアプリでも見れる仕組み ・ 災害情報や道路状況をリアルタイムで住民が見れる ・ 防災アプリを防犯などで普段から使う ・ エリアメールなどを用いて、細かく地区ごとに情報の送受信をする</p>	<p>⑬ デジタル技術の活用(支援業務・情報) ・ ロセンサによる異常の早期検知により、消防団へ情報の送信による情報の共有 ・ ケアが必要な市民情報を収集して、収納、活用する被災者支援 ・ を活用した災害時の行政業務を省力化</p> <p>⑭ デジタル技術の活用(ハード・アプリ活用) ・ ドローンを活用した災害状況の把握と取りまとめ ・ インフラ整備として、池水位監視装置による水位管理等</p> <p>⑮ 避難所の環境 ・ 避難所の環境向上(居住・衛生など) ・ 自宅の留まることなく安心していける ・ 外国人・女性に対応(配慮)</p> <p>⑯ 市の予算確保 ・ 災害の備え予算確保・アツプ ・ 国の財源の確保(国が直接支給する) ・ (消防)団員の報酬アツプ</p>

9

ワークショップ 3 : 若者・女性分野_ワークショップの様子



10

空白

ワークショップ 3 : 若者・女性分野_目標課題体系図

目標	若者・女性が活躍できるまち										
方針	地域環境 (交通・買物・医療・自然・治安 など)			機会・雰囲気 (学び・交流・活躍 など)				行政サービス (若者・女性への支援 など)			
分野	医療	移動・交通	商業・娯楽施設・公共施設	住民の交流	若者	女性・子育て世代	地域性	若者や女性に対する支援	働く環境		
課題	<p>A 医療体制(専門医がいらない)</p> <p>・子供向けの病院(皮膚科・眼科)が選べない</p> <p>・市内に産科がない</p>	<p>B 交通の利便性</p> <p>・交通の便が悪い</p> <p>・移動手段(タクシー)は午前中だけしか使えない</p>	<p>C 商業施設が少ない</p> <p>・イオンのような大きな商業施設が少ない</p> <p>・カフェや飲食店などが少ない</p>	<p>D 公共施設などの安心・安全</p> <p>・安心して遊べる公園が少ない</p> <p>・夜暗い場所が多く、安全面不安</p>	<p>E 交流の機会・場</p> <p>・小学校と高校の交流機会がない</p> <p>・備前市全体で交流できることを考えると良い</p> <p>・地域活動(自治会など)に若者が少ない</p> <p>・多世代が交流できる場が少ない</p>	<p>F 若者の挑戦・働く機会・場</p> <p>・若者の「挑戦」に冷ややかである</p> <p>・高校以降、働ける場所(アルバイト含む)が少ない</p>	<p>G 若者・女性・子育て世代に関するイベント</p> <p>・ことも、女性向けイベントが少ない</p> <p>・イベント会場がない</p>	<p>H 女性や子育て世代の働く機会・場</p> <p>・フレックスで働ける場所が見つけにくい</p> <p>・子育て中のママが働きやすい企業が少ない</p> <p>・子連れで会議・講演会に参加するのが難しい</p>	<p>I 地域性による壁</p> <p>・地域の違い(伝統?)で継まりが悪い(相互協力が難しい)</p> <p>・いまだに備前・日生・吉永で分断してたりする</p> <p>・高齢者など地域の主の声が地域の外に出てこない</p> <p>・よそ者が気軽に地域に入っていけない</p>	<p>J 若者や女性に対する支援</p> <p>・女性への支援についてあまり聞いたことがない</p> <p>・行政の支援内容が市民に十分伝わっていない</p> <p>・若者視点での政策が乏しい</p>	<p>K 通信ネットワークの活用(デジタル活用)</p> <p>・オンラインのコミュニティができない</p> <p>・ネットを活用して仕事ができない</p>

ワークショップ 3 : 若者・女性分野_目標施策体系図

方針	地域環境 (交通・買物・医療・自然・治安 など)			機会・雰囲気 (学び・交流・活躍 など)				行政サービス (若者・女性への支援 など)			
分野	移動・交通	商業・娯楽施設・公共施設	住民の交流	若者	女性・子育て世代	地域性	若者や女性に対する支援	働く環境			
施策	<p>① 交通の利便性の向上</p> <p>・ライドシェアの普及(病院や駅に行きやすい交通手段・環境の整備)</p> <p>・配車サービスの導入</p>	<p>② ゆつくり休める空間づくり(公園・飲食・娯楽施設など)</p> <p>・週末、子どもを連れて遊びに行ける場(雨天対応)が充実している</p> <p>(安心してのびのびと子供を育てる環境の整備)</p> <p>・図書館が充実している</p> <p>・電車を乗り過ごすところが多い場所がないので、ゆつくりと過ごせる場所(スタバ・カフェ)などがある</p> <p>・アウトレットの洋服を変えたり、映画が見れたり、遊べる場所がある</p>	<p>③ 観光資源の活用</p> <p>・インバウンドを推進する</p> <p>・リゾート(王家家泊、おいしいもの)を活用する</p> <p>・海・山を生かした観光業の推進(海の家を盛り上げる)</p>	<p>④ 地域の人々との交流の機会・場</p> <p>・いろいろな職業の人たちが、若者たちとどんな勉強をすればいいのかわからない必要なのかわからない、交流の場がある(子供を育てる場)</p> <p>・大人の経験を伝える機会がある</p> <p>・ボランティアがもっと活発な地域</p> <p>・若者が集まれる場、気軽に話せる多世代の交流の機会・場がある</p> <p>(例) 多世代が集うフードコート・カフェ・モールなど)</p>	<p>⑤ 企業との交流の機会・場</p> <p>・企業との交流の機会を増やす</p> <p>・インターシッピングの幅を増やすことで就職の幅を広げる</p>	<p>⑥ 若者の挑戦や働く機会・場</p> <p>・若者のチャレンジを大人が理解する機運を高める</p> <p>・若者のチャレンジを推奨する(失敗に寛容になる)</p> <p>・若い世代を受け入れる雰囲気がある</p> <p>・地域若者の挑戦的なプロジェクトへの支援</p> <p>(例) 高校お話しセッション/高校地域交流(交流) など)</p> <p>・起業体験(若者向けキックスタート)</p>	<p>⑦ 市民と行政の交流機会を増やす</p> <p>・市民の声、勤めている人の声が役所・議会に届けることができる</p> <p>(デジタル活用)</p> <p>・ママ・子育て世代の声を届ける目安の設置(直接声を拾う機会)</p> <p>・若者の意見要望制度</p>	<p>⑧ 地域性による壁(コミュニティ形成)</p> <p>・地域の理解・受け入れができる</p> <p>・よそ者が地域に気軽に入っていきたいやしやすい雰囲気がある</p> <p>・多世代で「足りない」を補えるまち多世代が互いに助け合える</p>	<p>⑨ 市民の交流機会を増やすための推進・支援</p> <p>・姉妹都市交流をする</p> <p>・海外交流の機会を作る</p>	<p>⑩ 就業支援</p> <p>・備前市内で就職したら、お金を市から出すなどの支援がある</p> <p>・女性の起業支援</p> <p>・若い世代が帰ってきたくなる仕組み作り(ターン支援)</p> <p>・子育て世代が働きやすい職場のマッチング制度(仕組みをつくる)</p>	<p>⑪ 働く環境の整備</p> <p>・託児所の併設など女性が安心して働ける環境の整備</p> <p>・備前市内でお店を出す際には、補助金などの支援を行う</p> <p>・制約(子育て、介護)があっても仕事ができる環境づくり</p> <p>・リモートワークやシェアオフィスなど、仕事(フリータイム)や起業しやすい環境</p> <p>・e-learningなど多様な学びができる環境・施設</p>